

第5次日野町総合計画の到達点と 残された課題について答申いただきました



▲答申書を町長に手渡す只友会長

平成23年度から取り組みを進めてきました第5次日野町総合計画が5年目を迎えるにあたり、昨年1月に設置された総合計画懇話会で、総合計画にある55の施策について、点検をいただきました。総合計画懇話会では、公募委員を含めた21名の懇話会委員により、14回にわたる熱心な議論のもと、その到達点と残された課題の点検や施策を充実・強化していくための提案を議論いただき、その内容をまとめられ、11月9日（月）に町長へ答申いただきました。

懇話会委員からの提言

答申書では、第5次日野町総合計画の施策点検の結果、一部の施策は順調に進んでいることを確認いただきましたが、社会情勢の変化や施策の総合性・相互関連性の視点から見て取り組みの質的転換が求められるものも見受けられたとされています。また、この答申内容を踏まえて、町のめざすべき姿を実現するために、住民と行政との協働による住民主体のまちづくりのもとで、重点的に取り組み改善を図ることが町に望まれています。

今回の答申書を手渡す際に、懇話会委員の皆さんからは、総合計画懇話会での議論となった次の課題を提起いただくとともに、これからのまちづくりへの想いについて町長などに伝えていただきました。

答申書の主な内容

- 施策の総合性や相互性を意識した施策の展開
- 公民館活動を充実するための施策の展開
- 住民の「自治の力」を育む施策の展開

町では、この答申書に基づき、平成28年度から平成32年度までの第5次日野町総合計画の後期期間について、これまでの施策をより充実・強化していき、町のめざすべき姿の実現に取り組んでいきます。

※答申書の内容は町ホームページで公開中です。